

明日に向かつて ともに創る

87

大船渡市長 戸田公明

全国椿サミット御殿場大会に

参加してまいりました

4月6～7日、全国椿サミット御殿場大会が開催されました。全国各地から椿の愛好者と共に自治体スタッフなど約600人が参加しましたが、大船渡市からはツバキ協会3人の皆様と、私を含め市職員4人が参加してまいりました。ちなみに、御殿場市は、平成24年度から5年間にわたり職員派遣を受けた自治体でもあります。

全国椿サミット大会の主催は、日本ツバキ協会と全国椿サミット協議会(関係市町村が会員)です。

初日は、全国椿サミット協議会理事会において、2年後のサミット開催地と今後1年間の会長・副会長が決められた後、開会セレモニーに引き続き、各種舞台や講演などが盛大に開催されました。

夕方には地元食材が振る舞われる交流会が盛大に開催され、締めくくりは、次回開催地の五島市にサミットのタスキが渡さ

れ閉会となりました。

2日目は、東山旧岸邸と秩父宮記念公園の視察が行われ、椿の銘木と椿園などの鑑賞が行われました。

視察参加者は400～500人おり、バス移動と対応にあたった御殿場市職員をはじめ、関係者には大変お世話になりました。

ところで、東日本大震災発生年である平成23年の3月19日は、全国椿サミット大船渡大会を開催する予定でしたが、中止になりました。

市としては、復興期間終了後、できるだけ早い時期に大船渡大会を開催すべく、数年前から全国椿サミット協議会に名乗りを挙げておりました。

今サミットでは2021年サミットを松江市で開催することが決まりましたが、来年開催の五島大会において、2022年サミットを大船渡市で開催することが決定される見込みです。

大船渡市には、椿にまつわる銘木・名所・まちづくりが数々あります。さらには、大震災後、官民協働により椿の産地化に関わる多様な取り組みを行ってまいりました。

椿によるまちづくりコーディネートが市役所に平成27年度から配置されています。椿油の生産を増やすべく、実の収集体制が形成されつつあります。

世界の椿館の改修(平成29年度)に合わせ、椿油の搾油機械を設置しました。毎年、市内中学生・日本ツバキ協会・関連団体と共に、椿植樹を行ってきました。

椿に関連したブランド商品の開発・販売をする事業者が市内に起業しました。

気仙椿のブランド化を目指している専門家による椿の搾油所が新たに設置されました。

その他、たくさんあります。大震災発生以降、国内外の多くの皆様から励ましと支援を受けながら、市の復興は着実に進捗してきました。

全国椿サミット大船渡大会を通じて、復興したまちの姿と大船渡市の感謝の気持ちを伝えたいと思いますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

第65回大船渡市民芸術祭参加団体を募集

9月から12月までの間に開催予定の市民芸術祭に参加していただける団体やサークルを募集しています。

芸術文化活動の成果を発表する場として、市民芸術祭へ参加してみませんか。

舞踊や演劇、合唱、演奏会などの舞台芸術のほか、絵画、書道、華道、工芸などが一堂に会する総合美術展への出展など、ジャンルを問わず幅広く募集しますので、お気軽にご応募ください。

なお、個人で総合美術展に出展を希望する人の申し込み



方法などについては、9月ごろあらためてお知らせします。

▷応募資格＝市内で行われる芸術文化活動に関わる団体・サークル(主たる出演者および出展者に大船渡市民が含まれていること)

▷会場＝リアスホール、カメラアホール、三陸公民館など

▷応募締切日＝7月5日(金)

▷応募先/問い合わせ先

大船渡市民芸術祭実行委員会事務局
【生涯学習課芸術文化係(☎内線290)】

